

二十年振りの製材

現在の材木屋が扱っている材の多くは所謂現地挽き製材品です。小生が服部商店に入社した今から30年昔とは完全に変りました。そしてこの30年の年月で現地挽き製材品に慣れ、親しみ過ぎた為に材木屋としての立ち位置が解らなくなってしまったのではないかと思えてならないのです。

8月初旬に愛知県の木材港にニューギニア材のペンシルシダーと言う樹種の検品に出掛けました。そして約500立方の中から1本の特選原木を分けて頂きました。そしてお盆明けに仕入先との値決めを終え8月23日に大阪まで引き取りその日のうちに製材を全て終わりました。

何故20年振りにペンシルシダー原木を製材するように考えたか理由を1～5の項目に分けて下記に書きます。

Q-1、ペンシルの現地挽きは多くは有りませんが輸入されています。何故原木を製材しようとしたか？

Q-2、今回たった1本の仕入れでは有りますが、ペンシルの原木の製材をしようと考えて要した時間はどれ位なのか。

Q-3、ペンシルの用途は何か。

Q-4、ペンシルの欠点は何か。

Q-5、ペンシルとよく似たアフリカ材の比較。



↑愛知県の木材港（ニューギニア材）

A-1、ペンシルの現地挽きは僅かですが国内に輸入されていますが、はっきり言って物が悪い。板の中が狭く、板目も混じっている。又色も良くない。『家具用には使えても造作用には使えない。』

A-2、約9ヶ月の時間が掛かりました。新たな仕入先を見つけそして具体的に商談が進み買い付けが出来るまで。

A-3、造作材です。造作材は家具材より上級の品質が求められます。造作材の用途で使えるペンシルなら申し分の無い良質材です。

A-4、ペンシルの最大の欠点は虫と木口のワレです。木が新しかったら虫は少ないですが、絶対に木が新しかったら虫がゼロと言う事は無いです。又ペンシルの様に硬い樹種の木口のワレは大きい傾向に有り、原木を横切りした瞬間からワレが入ります。

A-5、ペンシルと色合いが似た樹種はアフリカ材にサペリと言う樹種が有りますが、最大の違いは重さです。生材の時は二樹種共、重たいが、乾燥するとペンシルの方が割合軽い。



ワレがきつい



色の良い原木



芯を割る

今回ペンシル原木の買い付けから製材まで割りとスムーズに運びました。亡き父親が原木の仕入れに関して凄くハードに仕込んでくれたお陰だと思えます。服部商店に入社して現在で28年です。父親が亡くなって来年で10年です。徹底的に仕込んでくれた事が20年のブランクが有っても良い製材品を作る事に成功致しました。

商社との鮮烈な駆け引き・しかし木も縁が有るか無いかです。

8月4日に大阪府岸和田市の木材港に入荷したスプルース原木は欲しい原木は売ってくれませんでした。今回入荷したスプルース原木は入港から約2週間で全量販売先は決まったようです。

我々材木屋は3月11日の大震災以降、エンドユーザー様の荷動きは全く良く有りませんが、それ以上に今年の入荷量は激減しそうです。又今年の入荷量が全部で幾ら位になるかを予測する事は誰も出来ないと思います。その為第一船で少しは材を確保しなければいけないと言う要望がスプルースを扱う材木屋の共通認識になっているのではないかと思います。

私は今回岸和田に入荷したよく似た2本のスプルース原木の物語を下記に書きます。上の原木を1とし下の原木は2と仮にします。



約1/4が欠けています。

NO 1



欠けた所は大きなクサリです。



右側にクサリの穴が開いている。

NO 2



クサリの穴に指しを突き刺す

NO 1の2枚の写真は長さ8メートル直径144センチの原木です。左サイドの約4分の1が腐って無いです。又約半分の長さが腐っているように見えました。NO 2の写真は長さ10メートル20センチ直径141センチの原木です。右サイドに三日月型にクサリが有るのが解ります。

少し材木の専門の話をさせて下さい。クサリはデダクションと言う規格が有ります。それはクサリの材積分差し引いて販売してくれるのです。1番の原木の方が2番の原木よりクサリの材積が多いのが解ります。

1番の原木の方を仕入れしたかったのですが全く仕入先(A社)に相手にして頂けませんでした。そこで違う原木2番の仕入先(B社)の原木を仕入れしました。1番の原木の出来は自分の目で確かめてはいませんが、人の噂『クサリは有るが凄く木味の良い原木でした。』を聞きました。案の定素晴らしい出来の原木だと思いました。

小生は原木の見方を正直に書いています。しかし仕入先の方は少し誤解をしている様に思える事が有ります。それは失敗した時の事です。正直に服部新聞に今回は損しましたと書けば良いと思われるかも知れませんが、原木の悪口は心の中にしまい込んで絶対に出す事では無いと亡き父親に小生は訓練されています。何故原木の悪口を言ったらいけないかは原木が悪いのではなく、本人の木の見方が間違っていたから損をしたので有って、絶対に神様の授かり物の原木の悪口を言った瞬間から、縁『円』の有る木と出会いが少なくなると教えられました。

原木は見るときのコツが有ります。それはクサリの大きさが大きくても一部分に固まって有る方が、分散しているクサリより遥かに得だと言う事です。1番の原木の中身は完全には知りません。あくまで噂です。2番の原木の中身は完全に知っています。小生が全ての製材を行ったからです。2番の原木のクサリは見た目より遥かに多く腐っていました。しかしそのクサリを上手く裁けたと思います。自慢では有りませんが、小生の所に嫁に来た原木ですので愛情を全身全霊に込めて製材をしました。買い付け時に思ったより遥かにクサリは酷く多かったです。歩留まりを落とすことで、良い製材品が出来上がったと思います。

こう言う話『歩留まりをわざと落として良い製材品を作るテクニックを駆使すること』を仕入先には一切公言しませんでした。仕入先には『まずまず良かったと聞かれたら言います。』本当の材の出来栄は伝えないのが小生のやり方です。



↑ 欲しかったが小生の所に来なかったA社の原木



↑ 小生の所に嫁に来たB社の原木

今回スプルス原木を3本買いました。約35立方です。内訳は下に書きます。

- * 12メートル20センチ 直径88センチ原木
- * 4メートル直径121センチ原木
- * 10メートル20センチ直径141センチ原木

欲しい原木が全て買える訳では有りません、縁の有る木しか買えません。

第十回勉強会と第四回木材展示即売会の御案内

10月22日(土曜日)に勉強会と展示即売会を開催します。前月の服部新聞でご案内しましたが、皆様方の希望が一番多く頂いたのが上記の日程でした。今回はチーク原木の製材を見て頂きます。以前の勉強会で同じチーク原木(縞の少ないライトカラー)の製材を見て頂きましたが今回のチーク原木(縞の有るライトカラー→)は以前のチークと少し違います又木材展示即売会も当日開催します。当日の予定を下記に書きます。

AM8時～AM10時 木材展示即売会を催します。

AM10時～AM11時勉強会を開催し展示即売会を一時中止します。

AM11時～AM4時まで木材展示即売会を開催します。昼食はカップラーメンを当日ご用意しようと思っておりますので準備の関係上先月のアンケートで参加と連絡を頂いている方も再度ご連絡頂けます様御願い致します。即売会の出品材では当日限りのご奉仕品も多数用意していますのでこぞってご参加下さい。



ライトカラー(縞の有るチーク板)



左の原木は製材しました。右の原木を勉強会で製材します。

右の写真で左側の原木を製材しました。板の厚みは28ミリです。

家族

小生は仕事人間だと思えます。しかし家族を愛している優しい旦那だと自分では思っていますが、嫁とか子供達は私の事をどう思っているのでしょうか。私の家内の趣味は家庭菜園です。ニガウリ・キュウリ・トマト等を作っています。そして小生と子供達の健康を何時も考えてくれています。しかし小生は家内が作ってくれた食材を生かした料理・ジュースをなにも『美味いとか、まずいとか』言わず食べるので、作り甲斐の無い人だと言われてます。

この前ニガウリで作ったジュースを子供と二人で飲んだのですがまさか、ニガウリが入ったジュースとは思いませんでした。

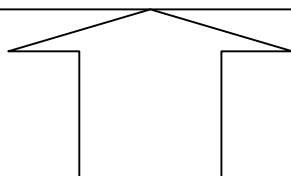
もしニガウリが入ったジュースだと言えば絶対に飲まない旦那と子供達で有る事を家内は解っています。

家では小生は多分粗大ごみの様な物でしょう。そんな旦那の面倒を見てくれているのが小生の家内です。

右の写真で熟しているのがジュースに入れられたニガウリです。皆様もニガウリジュースを召し上がって下さい。健康に良いと思えます。



FAX 072-422-8577



アンケート

1、第10回服部商店勉強会（2011年10月22日土曜日・チーク原木の製材。AM10時～AM11時の予定です。）に参加します。

はい

いいえ

2、木材展示即売会の出品材の内容は当日来社して頂いた方のみ限定です。特別割引する商品（当日発表します。）も用意しております。購入したいと思い来社したいと思う。

はい

いいえ

*10月22日当日勉強会・木材展示即売会と二つの行事を開催しますがどちらか一方の参加でも結構です。

会社名	
担当者名と人数	
住所	
お電話番号	
FAX番号	

〒 596-0011 大阪府岸和田市木材町 16-1

(株) 服部商店

服部 雅章

TEL 072-438-0173・0511